

校内研究の基本方針

【研究主題】

教科の「見方・考え方」を育て、「深い学び」につなげる学習をめざして
～国語科・社会科の研究実践を中心に～

【研究仮説】

教科の学習過程に応じた「見方・考え方」を明確にしながら単元の学習を組み立て、疑問・分かったこと・考えたことなどを話したり書いたりする実践を継続的に行うことにより、「深い学び」の実現につながっていくのではないかと。

【研究内容】

- ① 単元を通じた**問題解決的な学習**
- ② 単元ごとの**見方・考え方**を明確にした授業実践
- ③ 学習過程に応じた**言語活動**の充実（対話的な学習，書く学習を中心に）

《見方・考え方を働かせるための学習》

〈社会科〉

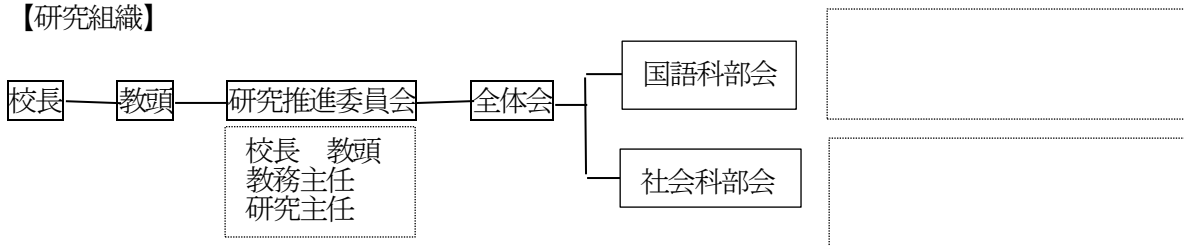
- 言語活動の子どもたちの疑問や気付き，考えの価値付け（見取り，評価）を行う。
- 多角的な見方・考え方を学び合う学習。
- 時間的・空間的に見たり，相互関係を捉えたり，概念的に捉えたりして，その特色や意味・意義などを考える。

〈国語科〉

- 単元ごとの指導事項を焦点化した学習の組み立て
- 学習して理解したことをもとに，感想や考えをもたせる学習展開
- 語彙力の向上を目指した指導の工夫

3 研究組織と計画

【研究組織】



【研究計画】

学期	月	内 容
1	4	研究主題・内容，研究組織・研究計画等についての検討
	5	指導案の形式等の検討
	6	指導案検討
2	7	研究授業，研究協議
	10	研究授業，研究協議
	11	研究授業，研究協議
3	1	研究紀要作成
	2	次年度の研究についての検討

